

長崎県観光動向調査 (令和2年1～3月分)

● 主要指標

令和2年1～3月

	対象 施設	延べ宿泊客 利用者数	R2-R1 同期比	
			増減率	増減数
主要宿泊施設	178	924千人	▲ 27.0%	▲ 342千人
主要観光施設	26	862千人	▲ 30.5%	▲ 378千人

	主要宿泊施設 客室稼働率	前年同期比 (ポイント)
1～3月累計	49.0%	▲ 15.3
1月	52.7%	▲ 0.9
2月	56.9%	▲ 12.4
3月	37.6%	▲ 32.6

● 概況

- 主要宿泊施設の宿泊客数は、1月はランタンフェスティバルの1月開幕や有人国境離島法を活用した取組、ビジネス需要などによりプラスで推移したブロックがあったものの、2月以降、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う宿泊キャンセルの発生が相次ぎ、多くのブロックで大幅減となったことから、1～3月期は対前年同期比▲27.0%と、平成19年の調査開始以来、最大の減少率となった。
- 主要観光施設の利用者数は、長崎県美術館が『荒木飛呂彦原画展 JOJO 冒険の波紋』の開催により大幅増となった一方で、長崎県美術館以外の施設は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により軒並み大幅減となったことから、1～3月期は対前年同期比▲30.5%と、主要宿泊施設と同様に平成19年の調査開始以来、最大の減少率となった。

ブロック別の主な増減要因

【長崎・西彼ブロック】

1月は今年のランタンフェスティバルが1月スタートであったことなどから対前年増で推移していたが、2月以降、新型コロナウイルス感染拡大の影響により宿泊キャンセルの発生が相次いだことから、1～3月期の宿泊客数は対前年同期比▲23.9%となった。

【佐世保・西海・東彼・北松ブロック】

相次ぐ宿泊キャンセルの発生やハウステンボスの休園など新型コロナウイルス感染拡大の影響に加え、リニューアル工事に伴う大型施設の休館もあったことから、1～3月期の宿泊客数は対前年同期比▲36.9%となった。

【平戸・松浦ブロック】

新型コロナウイルス感染拡大の影響により宿泊キャンセルの発生が相次いだこと、松浦地区において発電所関連のビジネス需要に変動減があったことから、1～3月期の宿泊客数は対前年同期比▲27.2%となった。

【諫早・大村ブロック】

2月までは電子部品関連のビジネス需要により1月が大幅増となるなど対前年増で推移していたものの、3月が新型コロナウイルス感染拡大の影響により大幅減となったことから、1～3月期の宿泊客数は対前年同期比▲2.6%となった。

【島原半島ブロック】

1月はビジネス需要等により対前年増であったものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響により宿泊キャンセルの発生が相次いだことなどから、1～3月期の宿泊客数は対前年同期比▲24.4%となった。

【五島ブロック】

新型コロナウイルス感染拡大の影響により宿泊キャンセルの発生が相次いだことなどから、1～3月期の宿泊客数は対前年同期比▲16.2%と、平成30年7～9月期以来の減となった。

【壱岐ブロック】

2月までは有人国境離島法を活用した滞在型旅行商品の販売が好調であったことから大幅増となっていたものの、3月が新型コロナウイルス感染拡大の影響により大幅減に転じたことから、1～3月期の宿泊客数は対前年同期比▲15.3%となった。

【対馬ブロック】

有人国境離島法を活用した滞在型旅行商品の販売は好調であった一方で、韓国人観光客の入込減に加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う宿泊キャンセルの発生により、1～3月期の宿泊客数は対前年同期比▲59.4%となった。

【参考】外国人観光客（宿泊客）の動向

韓国の入込が減少していることに加え、2月以降、新型コロナウイルスの感染拡大により、国際線の運休が相次ぐなど、その他の国・地域においても軒並み大幅減となったことから、1～3月期の外国人宿泊客数は対前年同期比▲63.3%と、平成20年の外国人客調査の開始以来、最大の減少率となった。

(参考資料)



